



中央市民病院ニュース

No.87

新年のご挨拶

病院長 木原 康樹



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は地域医療機関の皆様には大変お世話になりました。心から感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症への対応を段階的に縮小し、通常救急の受け入れや高度医療提供体制の再強化に努めてまいりました。コロナ禍に於いて救急患者の受け入れ制限等、地域医療機関の皆様にはたいへんご迷惑をお掛けしましたが、今後一層の体制強化に取り組んでまいりますので是非患者さんのご紹介をお願いいたします。また、この未曾有の感染症との闘いの経験を将来の新興感染症対策に活かしていくことを目的に、職員の葛藤も含めた病院現場における3年間の対応を振り返った記録をまとめ、1冊の書籍「人間 対 コロナ：神戸市立医療センター中央市民病院の3年」（神戸新聞社）として出版いたしました。御評価を賜れば幸いです。

その他、私たちの長年にわたる努力の成果として当院の救急救命センターが9年連続で全国1位（厚生労働省救命救急センター評価、令和4年度）に輝きましたことを報告申し上げます。

地域連携の活動では、昨年4月の地域連携セミナーに始まり、9月には対面での地域連携懇話会を開催することができました。加えて、脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業施設として、脳卒中・循環器病に対する相談窓口の強化に取り組みました。これは、地域医療機関等との連携を強化し、包括的な支援体制を構築することにより、神戸地域全体の患者支援の充実を図ることを目的としております。

今年1月には、病床管理システム「ボリュームコントロールセンター」の本格稼働を予定しています。AIを利用し病床の稼働状況を一元的に可視化することで従来に増して多くの患者さんの受け入れに繋げていきます。

3月に当院は大正13年の開設以来、創立100周年を迎えます。今後も、神戸市の基幹病院としての役割を発揮していくために、連携医療機関や連携登録医の皆様とのより緊密な連携が不可欠であります。皆様との共働のもと、地域の皆様のご要望やご期待に応えられるよう更なる努力を重ね、市民病院としての役割を果たして参ります。引き続きご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様の今年一年の御清栄と御健勝を祈念申し上げます。

INDEX

新年のご挨拶	1	第7回聴覚障害児支援研修会のご案内	5
当院では高齢化社会に適応した 肝胆膵手術を提供いたします！	2	医師の異動のおしらせ	7
DNAR プロトコルのご紹介	3	患者さんをご紹介いただく際は	8

当院では高齢化社会に適応した肝胆膵手術を提供いたします！

外科 医長 成田 匡大

私は2023年10月に神戸市立医療センター中央市民病院に入職いたしました。生まれてから高校を卒業するまで神戸で育ってききましたので、この愛すべき神戸の地に戻ってこれたことを嬉しく思っています。専門は肝胆膵外科、特に内視鏡・ロボット支援手術です。また、鼠径ヘルニア手術も昔から好きでやっています。今後ともよろしく願いいたします。

さて、言わずもがなですが、日本は高齢化社会の真っ只中です。前任地である国立病院機構 京都医療センターでもそうでしたが、ここ神戸市立医療センター中央市民病院に来てからというもの、ほとんどの患者さんが80歳以上です。一昔前であれば、年齢をみただけで手術適応外、としていましたが、現在は年齢で患者さんの手術適応を決めることはございません。私が初診外来で高齢者の手術の可否を決めるポイントは①歩いてきているか②話を聞いているかです。つまり、運動および認知機能が保たれているか、に依存します。また、①・②が少し頼りないかな、という印象であったとしても、ご家族のバックアップがあれば手術適応外にすることはありません。

なぜ、昔に比べて高齢者に対する手術適応が広がったのでしょうか？それは、当院では**腹腔鏡・ロボット支援手術**といった**低侵襲手術**が**肝胆膵領域でも安全に行える**からです。

高齢患者さんにとって術後早期に離床ができないことは術後肺合併症の併発につながり、入院期間が長期になることにより廃用症候群が発症し、いわゆる「寝たきり状態」に陥ります。肝臓は肋骨に囲まれた領域に位置し、膵臓は腹部の最も背側に位置する臓器であるため、手術難易度が高く従来は開腹手術で行うことが原則でした。開腹手術は患者さんに対するストレスが大きすぎることから、術後早期の離床や早期退院が実現できず、「癌は治ったけど健康寿命が短くなった」というジレンマに陥ることもあり、高齢者に対する肝胆膵手術が適応外になっていた経緯があります。このジレンマを解消し、高齢者の患者さんに対しても安全な手術を実現できるのが、当院が得意としている腹腔鏡・ロボット支援手術といった**低侵襲手術**です。肝臓切除は一部の胆道癌を除いたほぼ全例に、膵臓は高度進行膵癌を除いた尾側膵切除に腹腔鏡もしくはロボット支援手術を行っています。腹腔鏡・ロボット手術では開腹手術と比較して出血量および術後合併症が明らかに少なくなります。傷が小さいこと、臓器が大気に触れないことから患者さんのストレスも少なく、術後早期退院が可能です。実際に、当院での腹腔鏡・ロボット支援で行う肝切除の術後平均在院日数は5日です。このように、腹腔鏡・ロボット支援手術は現在の日本の実状にあった理想的な手術である、と言えます。

先生方の大事な患者さんが単に長生きするだけでなく、健康寿命を損なわず長生きできるよう、全力で診療に当たりたいと思います！ご紹介よろしく願いいたします。



DNAR プロトコルのご紹介

神戸市メディカルコントロール協議会 会長、救命救急センター長
有吉 孝一

医療従事者のバーンアウトの原因に「情緒的消耗感」「脱人格化」「個人的達成感の低下」の三要素があると言われています。(毎日新聞 2023/9/19)

医療者の方針と患者さんやその家族の意思が異なることにより、現場で軋轢を生じれば、質の高い救急活動を行っているとはいえません。強い使命感を持って働いていても達成感を得られないことでしょう。

神戸市では昨年 4 月より心肺蘇生を望まない方に対する新たな救急活動の運用を開始しました。これまで、神戸市消防局救急隊は病院搬送する心肺停止状態の患者さんには必ず心肺蘇生（以下 CPR）することをプロトコルに定めていました。病院前医療の質を担保する役割の神戸市メディカルコントロール協議会（以下 MC）では神戸市医師会、二次救急病院、三次救急病院、介護士、弁護士からなる計 11 人の委員でワーキンググループを作り、2 年かけて検討し DNAR プロトコルを完成させました。図に実際のフローを示します。

救急隊は書面の有無にかかわらず、積極的に意思表示を確認し、三次救急医療機関が担当する MC 指示医師とかかりつけ医師と連携し ACP（人生会議）を介した蘇生に関する意思表示内容を確認します。蘇生中止決定の後、かかりつけ医が往診できれば引継ぎ、12 時間以内にできないのであれば CPR をしないまま医療機関に搬送します。

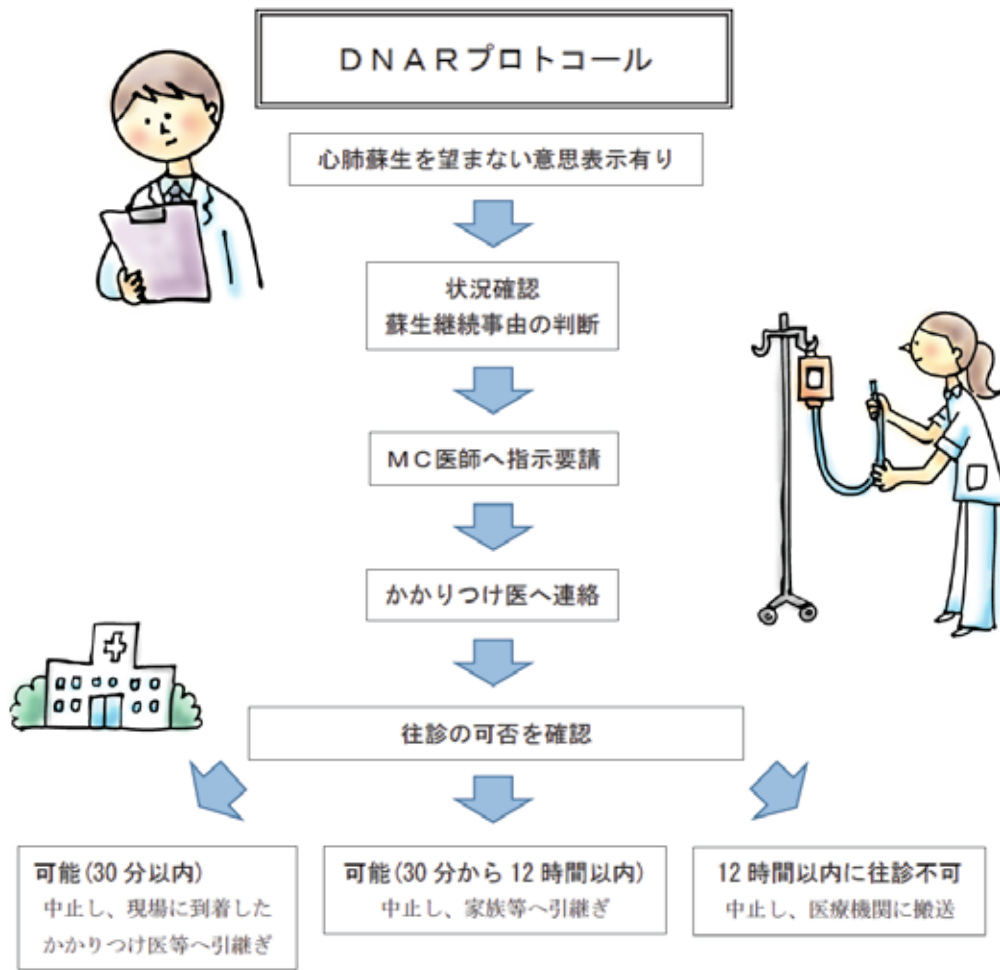
本プロトコル施行後半年（R5 年 4～9 月）の期間に 44 件の DNAR 意思表示が確認されました。うち口頭は 24 件、カルテ等書類に記してあるものが 20 件ありました。CPR を中止した案件は 23 件ありうち 11 件が病院搬送し、12 件がかかりつけ医の先生によって自宅で死亡確認されました。(表)

医療は病院前から始まっており、患者さんとその家族、かかりつけ医の先生方の意思を考慮することが、コロナで荒廃した社会をより良くする第一歩です。神戸市以外の各地域の亀艦となるべく努力を続けてまいりますので、今後とも相変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

*図表、動画は神戸市消防局より提供



【図】 DNARのフロー



【表】 期間中のCPA事案とプロトコル適応数

	CPA事案	DNAR 意思表示数	CPR継続	CPR中止	中止内訳
令和5年4月	117件	10件	6件	4件	家族引継ぎ 1件 病院搬送 3件
5月	97件	7件	4件	3件	かかりつけ医引継ぎ 1件 家族引継ぎ 2件
6月	108件	10件	4件	6件	かかりつけ医引継ぎ 1件 家族引継ぎ 2件 病院搬送 3件
7月	105件	8件	3件	5件	家族引継ぎ 4件 病院搬送 1件
8月	106件	4件	3件	1件	病院搬送 1件
9月	99件	5件	1件	4件	病院搬送 4件
合計	632件	44件	21件	23件	引継ぎ不搬送 11件 中止し搬送 12件

【動画】 「本人の意思を尊重した救急活動の実現」
URL : <https://youtu.be/ORDP-O1a-vE>



第 7 回 聴覚障害児支援研修会のご案内

耳鼻咽喉科 総合聴覚センター長 内藤 泰

平素は、神戸市聴覚障害児支援中核機能モデル事業ならびに総合聴覚センターの運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和 4 年 1 月より、神戸市の聴覚障害児支援中核機能モデル事業が開始されました。今回、本事業の一環として、聴覚障害児に関わる支援者の皆様を対象とした小児難聴医療に関する研修会を下記のとおり開催いたします。多数のご参加をお待ちしております。

この度の開催につきましては新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により、聴講方法は、オンラインのみとさせていただきます。当日、聴講できなかった場合は、オンデマンドでの聴講も可能です。

記

1. 日 時 令和 6 年 2 月 22 日（木）午後 4 時半から 6 時まで
2. 参加対象 聴覚障害児に関わる支援者（保育所・幼稚園・障害児通所支援事業所・学校等の支援者、保健師等の関係機関の支援者、医療関係者、行政関係者、当事者及びその保護者）
3. 講師とテーマ 別紙参照
4. 聴講方法 現地での聴講、オンライン聴講、または後日のオンデマンド
※接続方法や URL などの聴講方法は申込みされた方へ別途お知らせいたします。
5. 配信方法 Zoom での配信 ※ Zoom アプリのインストールが必要です。
6. 参加費用 無料（聴講にかかる通信料はご負担ください）
7. 申込み方法 令和 6 年 1 月 29 日（金）まで、お申込みは聴講申込案内をご参照ください。
8. 問い合わせ先 聴覚障害児支援中核機能モデル事業 事務局（担当／^{たにのくち}谷之口）
神戸市中央区港島南町 2 丁目 1 - 1
神戸市立医療センター中央市民病院耳鼻咽喉科 総合聴覚センター
（神戸市立医療センター中央市民病院南館 1 階）
TEL：078-302-4516 FAX：078-302-7246
E-mail：c_choukaku@kcho.jp



第7回 聴覚障害児支援研修会 聴講申込案内

日 時：令和6年2月22日（木） 午後4時半～午後6時
開始時刻：令和6年2月22日（火） 午後3時20分から入室できます
講師と演題名

講師：独立行政法人国立病院機構 東京医療センター
 臨床研究（感覚器）名誉センター長：加我 君孝先生
 演題：『小児難聴医療・療育の歴史と現状と将来展望』

【研修会申し込み方法】

- QRコードを読み取り、下記の内容を入力してお申込みください。
 ※ QRコードの読み取りが出来ない場合は下記のURLをご利用ください。



URL：https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSehSZOoHOLE_80Mdlv3dX_YKFab5tbJKfs_WujDQ7Wf6gOB_g/viewform

- ① 氏名、連絡先メールアドレス
- ② 聴講方法（現地聴講・オンライン聴講・後日のオンデマンド）
- ③ 難聴小児との関わり方（職種等）についてご記載ください
 （医療関係）（保育所（園）幼稚園、認定こども園）（学校（教育機関））
 （障害児通所支援事業所）（行政関係）（難聴児ご本人・保護者）

●申し込み締め切り：

令和6年1月29日（金）

●開催前日までに当日案内を①の連絡先アドレスにお送りします。

なおオンライン聴講の場合、開催前日までにzoom入室設定、視聴環境をご準備ください。

※地方独立行政法人 神戸市民病院機構 神戸市立医療センター中央市民病院 耳鼻咽喉科 総合聴覚センターは、神戸市が実施する「聴覚障害児支援中核機能モデル事業」の受託事業者です。

開催日
 令和6年2月22日（木）
開催時間
 16:30~18:00
神戸国際会議場

■主催
 地方独立行政法人神戸市民病院機構
 神戸市立医療センター中央市民病院
 耳鼻咽喉科 総合聴覚センター

参加費無料・要事前申込

厚生労働省
 神戸市聴覚障害児支援中核機能モデル事業
 第7回聴覚障害児支援研修会

小児難聴医療・療育の 歴史と現状と将来展望

現地参加：先着100名様
 参加資格：小児難聴に関わる全ての方
 ※zoomによるオンライン参加も可
 ■申込方法■
 下記のQRコードを読み取りお申込みください

講師
 独立行政法人国立病院機構
 東京医療センター
 臨床研究（感覚器）名誉センター長
 東京大学名誉教授
 医師：加我 君孝 先生

■お問い合わせ
 神戸市立医療センター中央市民病院
 耳鼻咽喉科 総合聴覚センター 事務局
 TEL：078-302-4516 FAX：078-302-7246（直通）
 Email：c_choukaku@kcho.jp

TO KOBE
 共催：神戸市こども家庭局

■お問い合せ
 神戸市立医療センター中央市民病院
 耳鼻咽喉科 総合聴覚センター 事務局
 TEL：078-302-4516 FAX：078-302-7246（直通）
 Email：c_choukaku@kcho.jp

司会
 神戸市立医療センター中央市民病院
 耳鼻咽喉科 総合聴覚センター長
 医師：内藤 泰

神戸市立医療センター中央市民病院、総合聴覚センターは、神戸市が実施する「聴覚障害児支援中核機能モデル事業」の受託事業者です。

地域連携のお知らせ

連携登録医にご登録ください

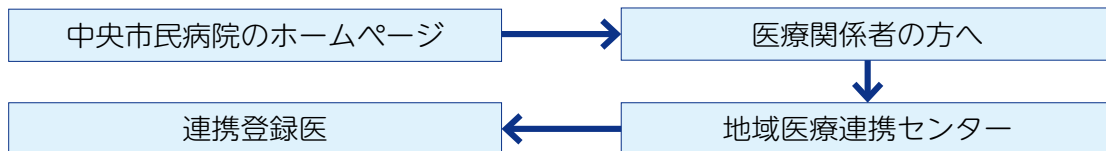
当院では、患者さんが地域で安心して継続した医療を受けられるよう、当院と連携・協力して安全で質の高い医療を提供される市内医療機関の先生方を「連携登録医」として登録する制度を設けています。

連携登録医として登録していただくと

1. 紹介患者さんに対する診療及び入院の対応を迅速に行うよう努めます
2. 紹介患者さんの診療記録を当院で閲覧できます
3. 当院の患者さんがかかりつけ医を探される場合に紹介いたします
4. 図書室など当院の施設・設備を利用できます（ご利用になれない施設・設備もあります）
5. 来院時の駐車場料金を無料にします
6. 当院が公開して行う症例検討会、研修会、講演会等に自由にご参加いただけます
7. 病院ニュースやオープンカンファレンス・講演会の開催情報などを E-mail でお送りいたします
8. 「連携登録医証」「インターネット紹介予約システムご利用 ID・パスワード」を発行いたします

新たに下記の先生方にご登録いただきました。

なお、連携登録医療機関一覧は、当院ホームページにも掲載しております。



新規連携登録医療機関

区別住所 50 音順で掲載しております。

区	連携登録医療機関	住所
東 灘 区	メディクス東灘クリニック	神戸市東灘区田中町 3-13-17-102
中 央 区	神戸三宮ミライ歯科クリニック	神戸市中央区京町74
中 央 区	松田・神戸クリニック	神戸市中央区御幸通 5-2-5
垂 水 区	医療法人社団和啓会 メディクス舞子クリニック	神戸市垂水区五色山 4-5-8
垂 水 区	医療法人慶春会 みなとクリニック	神戸市垂水区舞子坂 4-1-7

医師の異動のお知らせ

10月～12月

退職・転出			
診療科	役 職	氏 名	異動日
麻酔科	医長	伊原 直子	12月31日
外科	医長	橋田 毅	12月31日
小児科・新生児科	専攻医	小川 碧	12月31日
脳神経外科	専攻医	西井 陸大	12月31日
救急部	専攻医	樟 侑樹	12月31日
救急部	専攻医	高橋知佳子	12月31日

11～1月

採 用			
診療科	役 職	氏 名	異動日
血液内科	医長	水谷 知里	1月1日



患者さんをご紹介いただく際は・・・

● FAX・インターネットでご予約ください！ ●

地域の医療機関の先生方からご紹介いただく患者さんの待ち時間を短縮するため、診察・検査の紹介予約を受付しています。紹介予約の方は予約時間どおり受診できるように努めておりますので、是非ご利用ください。

FAX予約

- FAX 予約申込時、申込書に診療経過等の記載がなくても FAX 予約は可能です。診療情報はその日のうちに記入し、再送信して下さい。
- 患者さんのご都合がはっきりしない場合でも仮予約をお取りください。仮予約後、患者さんご自身で予約変更が可能です。地域医療連携センターへ電話で連絡をして頂くようお願いください。

【手順】

1. 「FAX 予約申込書」を当院地域医療連携センターへ送信して下さい。【簡易手続記載例を参照ください。】
 - 1) 「FAX 予約申込書」様式の上段赤枠のみ記載ください。（検査依頼については専用の検査様式をご使用ください）
 - 2) 後ほど予約申込日中に下段青枠に追記してから再送ください。
2. 「予約報告書（上段）兼初診予約券（下段）」を返信します。
3. 「予約報告書（上段）」は貴院で保管し、「初診予約券（下段）」及び「診療情報提供書（紹介状）」を患者さんに手渡してください。

※予約の必要と思われる診療情報も併せて記載してください。
 ※中心に設ける予約で診療情報がない場合、「紹介センター」での扱いとなります。
 紹介先医療機関の FAX 番号 _____

氏名欄、性別欄、生年月日欄、住所欄、電話番号欄、診療科目欄、検査依頼欄、診察日時欄、予約目的欄、希望医師欄、予約済みで下欄記載の場合チェックを入れてください。

1 **まず赤枠のみ記入して送信してください。**

2 **お手すきの際に青枠に追記して再送してください。もしくは、貴院様式の診療情報提供書を追加送信してください。**

インターネット紹介予約

インターネットで診察予約申込と予約券出力が可能です。

当院ホームページ > 医療関係者の方へ > 一般外来紹介予約 > インターネット紹介予約はこちら

PET/CT 検査依頼のご案内とお願い

放射線技術部

● 当院の PET/CT 検査について

2017年11月より、地域医療機関の先生方からの PET/CT 検査依頼に対応可能となりました。

当院は、サイクロトロンを備えており、PET 薬剤 (FDG) は、院内で合成し、品質検定に合格したものを使用しています。そのため、体重により適量の PET 薬剤を投与することが可能となり、安定した画像の提供を行っています。



2018年3月に「5リング搭載高感度型 PET/CT 装置 (GE Healthcare 社製 Discovery IQ)」が導入され、従来の装置に比べ、低被ばくで高画質の検査が可能となりました。

また現在、検査予約待ちがほぼない状態で、患者様のご希望に添った検査予約が可能となっております。

● 地域医療機関の先生方へのお願い

FDG-PET/CT 検査は、悪性腫瘍（早期胃がんを除き、悪性リンパ腫を含む）において保険の適用となり、検査目的は病期診断、再発・転移診断となっております。悪性腫瘍の疑いなどの良悪性鑑別、治療効果判定（悪性リンパ腫を除く）は、保険の適用外となりますのでご注意ください。

また、他の画像診断により病期診断、再発・転移診断が確定できない場合に限り、FDG-PET/CT 検査を受けられる前に、必ず CT・MRI の画像検査を施行し、画像データを持参していただきますようお願い致します。



地方独立行政法人 神戸市民病院機構
神戸市立医療センター中央市民病院
 Kobe City Medical Center General Hospital

〒650-0047 神戸市中央区港島南町2-1-1

代表 Tel: 078-302-4321 Fax: 078-302-7537

FAX予約 Tel: 078-302-6031 Fax: 078-302-2251

地域医療連携センター

Tel: 078-302-4321(代) Fax: 078-302-4424

★緊急受診・転院のお問い合わせは★

専用ダイヤル：078-302-5172

平日 9:00 ~ 17:00 地域医療連携センター
 上記以外の時間帯 救急外来受付

脳卒中ホットライン
 078-302-8030

産科ホットライン
 078-302-5104

胸痛ホットライン
 078-302-6162

小児科ホットライン
 078-302-5343